

総合開館30周年記念TOPコレクション
TOP 30th anniversary TOP Collection: transphysical

トランスフィジカル

transphysical



主催—東京都、東京都写真美術館

開館時間—10時—18時（木・金曜日は20時まで）※8月14日—9月19日までの木・金曜日は21時まで開館 ※入館は閉館の30分前まで

休館日—毎週月曜日（月曜日が祝休日の場合開館、翌平日休館）

観覧料—一般700（560）円／学生560（440）円／高校生・65歳以上350（280）円

※（ ）は有料入場者20名以上の団体、当館映画鑑賞券提示者、各種カード会員の割引料金

※各種割引の詳細はご利用案内をご参照ください／中学生以下、および障害者手帳をお持ちの方とその介護者（2名まで）、TOPMUSEUM PASSPORT 2025提示者は無料／8月14日—9月19日までの木・金曜日17時—21時はサマナイトミュージアム割引（学生・高校生無料、一般・65歳以上は団体料金、学生証・年齢が確認できるものを提示ください）／第3水曜日は65歳以上無料

※各種割引の併用はできません。 ※本展はオンラインによる日時指定チケットが購入できます。

※事業は諸般の事情で変更することがございます。最新情報は当館ホームページでご確認ください。

2025.7.3—土—9.21—日—

東京都写真美術館 3階展示室

恵比寿ガーデンプレイス内

TOP MUSEUM

トランスフィジカル

東京都写真美術館の総合開館30周年を記念するTOPコレクション展を開催します。本展は、学芸員4名の共同企画によるオムニバス形式です。多角的な視点から当館コレクションを選びすぐり、写真と映像の魅力をご紹介します。

本展のタイトルは「トランスフィジカル」。フィジカルには「物質的」「身体的」という意味があります。モノとして存在する写真の「物質性」や、被写体や作家自身の「身体的表現」に着目します。さらに、「トランス」という接頭辞は、対象がそのもの自体から、別の形態や位置へ移動していくプロセスや行為をさします。30周年という節目の年に、これまでのコレクション作品のあらたな読み解き方を紹介し、イメージがつくられていくその豊かな過程へ目を向けます。デジタル化が進む現在の写真・映像の在り方に、当館の珠玉の名作が鮮やかな一石を投じます。

- 第1室 「撮ること、描くこと」
- 第2室 「dance」
- 第3室 「COLORS」
- 第4室 「虚構と現実」
- 第5室 「ヴァンテージと出会うとき」

担当学芸員によるギャラリー・トーク

7月18日(金) 14:00-
8月8日(金)、9月12日(金) 14:00-(手話通訳付き)
※当日有効の本展チケットまたは展覧会無料対象者の方は
各種証明書等をご持参のうえ3階展示室入口にお集りください。

スペシャル・トーク

ゲストをお招きし、アーウィン・オラフ作品の制作背景についてお話をうかがいます。

7月6日(日) 14:00-15:30
登壇者 | Shirley den Hartog (Studio Erwin Olaf ディレクター)、邱于瑄 (当館学芸員)
会場 | 東京都写真美術館1階ホール 定員 | 190名 参加費 | 無料
※当日10時より1階総合受付にて整理券を配布します。 ※日英逐次通訳付

連続対談 過去と未来をつなぐ

「コレクションの歴史から何を学び、未来に伝えるか」をテーマに、第一線で活躍する写真・映像の研究者、教育者とTOPコレクション展の共同企画を行う当館学芸員による対談シリーズです。

7月25日(金)
登壇者 | 石原友明 (出品作家、京都市立芸術大学芸術資源研究センター 客員研究員)
遠藤みゆき (当館学芸員)

9月19日(金)
登壇者 | 野澤豊一 (富山大学人文科学系 准教授)、山崎香穂 (当館学芸員)
各回とも18:30-20:00
会場 | 東京都写真美術館1階スタジオ 定員 | 50名 参加費 | 無料
※事前申込制 ※申込方法等の詳細は当館ホームページをご確認ください。

インクルーシブプログラム「手話を交えたQ&Aショー」

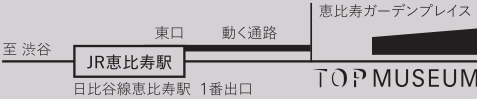
耳の聞こえない鑑賞案内人の小笠原新也さんが、鑑賞者を代表して、展覧会の担当学芸員に、出品作品や展示意図などについて質問する新プログラム「手話を交えたQ&Aショー」です。

9月7日(日) 14:00-15:00
質問者 | 小笠原新也 (耳の聞こえない鑑賞案内人)
会場 | 東京都写真美術館2階ロビー 定員 | 50名 当日受付、先着順、手話通訳付き
※参加方法・申込方法等の詳細は当館ホームページをご確認ください。
※事業は諸般の事情で変更することがございます。

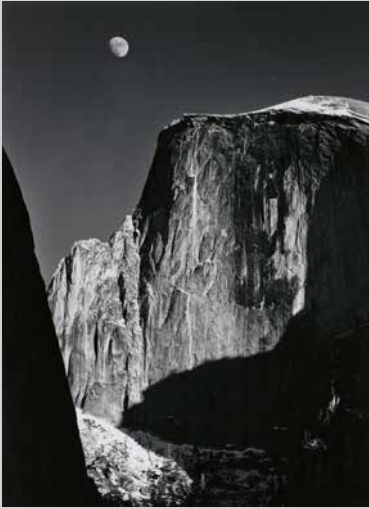
表面図版 | ●小本章 〈90-23〉〈Seeing〉より 1990年 銀色素漂白方式印画 ●安村崇 〈湯かき棒とゴム手袋〉〈日常らしさ〉より 1999年 発色現像方式印画
裏面図版 | 上から ●オノテラユキ 〈No.CO-2〉〈12 Speed〉より 2008年 インクジェット・プリント ●アンセル・アダムス 〈月とハーフドーム、ヨセミテ渓谷、カリフォルニア州〉1960年 ゼラチン・シルバー・プリント ©The Ansel Adams Publishing Rights Trust ●山城知佳子 〈OKINAWA 幕庭クラブ〉〈幕庭シリーズ〉より 2004年 シングルチャンネル・ビデオ ●ルイ・デュコ・デュ・オーロン 〈アジャンの風景、木と水の流れ〉1872年 エリオクロミイ ●森村泰昌 〈創造の劇場/イヴ・クラインとしての私〉〈なにものかへのレクイエム〉2010年 ゼラチン・シルバー・プリント すべて東京都写真美術館蔵

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

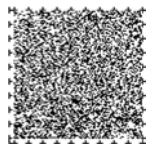
〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 Tel: 03-3280-0099 www.topmuseum.jp



JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。当館には専用の駐車場はございません。お車でこ来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



音声コード (Uni-Voice)



専用アプリでチラシの内容を聞かことができます